

所属・資格 教育学科・教授

申請者氏名 小野 雅章

研究課題		近代日本における地域教育史関係史料の調査・収集——通史的検討を視野に入れて
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<p>本研究の目的は、長野県諏訪市高島小学校所蔵の学校関係史料を体系的に調査・収集し、日本の近代化とともに変容する地域社会において、学校および教育がどのように変化したのかを、幕末維新期からおおよそ1970年代までを射程にして、具体的な資料の分析と目録作りをしたうえで、地域社会と教育との関係を改めて問い直すことを目的にしている。</p> <p>本年度は、昨年度と同様に、諏訪市高島小学校所蔵の学校関係史料の調査と目録作りを中心にしながらも、ある程度分析出来た史料を用いての論文作成を行った。</p>
	研究 の 結果	<p>長野県諏訪市高島小学校は、書庫と文献庫の二か所に史料を保存している。具体的には、書庫に図書史料、文献庫に文書史料を保管している。そのなかで本年度は、文献庫所蔵の文書史料を中心に調査し、明治期を中心に簿冊ごとに整理し、文献目録の作成に従事した。</p> <p>文献目録の作成と並行し、長野県諏訪市高島小学校と同様に幕末維新期から現代にいたる学校文書を保存している、長野県松本市旧開智学校所蔵史料との比較検討も試みた。両校とも、旧筑摩県下の学校であり、かつ一町一小学校制度を採用しており、史料の保存状況も類似している。しかし、同じ長野県下でありながら、地域性の違いによって教育実践の方向性に顕著な違いが確認できるなど、これまでの地域教育史の通説とは異なる事実を確認できた。</p>
	研究 の 考察 ・ 反省	<p>長野県諏訪市高島小学校所蔵史料の調査・収集と明治期を中心にした資料目録の作成を行うとともに、所蔵の史料の特色を考察するべく、松本市旧開智学校所蔵文書との比較検討を行った。その結果、長野県下の同じ旧筑摩県に属する両校であり、一町一校制を採用する大規模校であり、かつそれぞれの地域中心校という共通性があるものの、教科指導関係の文書を中心に、それぞれの地域の特殊性や独自性を確認することができた。特に、諏訪市高島小学校の場足、理科に関する教材研究・教育実践に特徴あることを明らかにした。その他、職員研修のなかで、国定教科書に関する批判的論及などの事実も確認できた。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>〔研究発表〕</p> <p>①「教育勅語と近代日本——その構造と思想」TAMA 市民大学講演於多摩市永山公民館（ベルブ永山）、2018年6月24日。</p> <p>②「学校儀式と『日の丸』『君が代』 良心表現の自由を!声をあげる市民の会公演（於東京市民活動ボランティアセンター会議室A・B、2018年12月8日。</p> <p>〔研究成果物〕</p> <p>①日本教育学会教育勅語問題ワーキンググループ編『教育勅語と学校教育——教育勅語の教材使用問題をどう考えるか』世織書房、2018年4月。（第一篇第一章執筆）</p> <p>「日本近代教育における教育目的と教授法・教科課程の関係史考察——「主体的・対話的で②深い学び」の系譜に関する考察」『桜美林大学論考 教職研究』第4号、2019年3月。</p>	